



2019年4~7月 真生会館ゆかりの読書会

# 遠藤周作を読む会

講師 金承哲 南山大学人文学部教授

(プロフィールは裏をご覧ください)

7月20日(土)13:30~15:30

受講料 1,000円

学生は無料 学生証をご提示下さい

課題図書

「さらば、夏の光よ」 (講談社文庫)

作品紹介

「道ばたの小石でも見るように無関心に」さらされる男。  
「便利だから利用」されるばかりの男。「自分と同じように醜くて」「みんなから軽蔑されるか、無視され」、小禽のみが自分の友だと思ふ男。この野呂文平という男の姿は、「無力な男」としての遠藤のイエス像とどのような関係があるだろうか。

この講座では多様なジャンルの作品を扱います。講師から作品についてのお話を伺い、受講者の皆さんと自由に意見交換を行いますので、どうぞお気軽にご参加ください。書籍をお持ちの方は、ぜひご持参ください。



お申込み・お問合せ

一般財団法人真生会館

〒160-0016 東京都新宿区信濃町33-4

Tel:(03)-3351-7121 Fax:(03)-3358-9700

E-mail: gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp

URL: <http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp>

申込書 遠藤周作を読む会 開催：2019年7月20日

お名前:

電話番号

ご住所: 〒

## <講師のご紹介>

### 金承哲氏 (キム・スンチョル)



韓国の高麗大学で物理学、メソジスト神学大学大学院でキリスト教神学（組織神学）を専攻。スイスのバーゼル大学神学部で、1989年に神学博士学位(Dr. theol.)を取得、その後韓国の釜山神学校で教鞭をとった。2001年に来日。2011年まで金城学院大学教授を経て、2012年より南山大学人文学部教授、南山宗教文化研究所第一種研究所員(2016年より同研究所所長)。

専門はキリスト教神学。宗教間対話、宗教と科学の対話、キリスト教文学を研究、各分野において著書、翻訳書、論文等多数。『遠藤周作—痕跡と痛みの文学』(2017、ビアトル) (韓国語)があり、遠藤周作の『沈黙の声』を韓国語に翻訳した。

#### 講師の金先生の著書

「沈黙への道 沈黙からの道—遠藤周作を読む—」(かんよう出版)は当館1階エントランスホールの書棚にありますので、どうぞご自由にお読み下さい。

